

「紳士的に」

JJ1SXA 池

最近、いわゆる四字熟語(漢字四字で構成される熟語)を一寸調べる機会があり、知っている言葉の意味を確認しましたが、四字熟語は結構数多くあり、余り知られていない言葉もありますね。

一寸昔、二子山部屋の若貴兄弟が、横綱昇進の時の口上で「四字熟語」を使っていたのですが、若乃花は間違って発音したのは有名？です。

3月初旬の新聞の記事で見ましたが、KSD関係の元参議院議員氏が、「明鏡止水、じたばたしないよ」と発言していたようでした。

「明鏡止水」とは「くもりのない鏡と波立たない静かな水という意味で、心にやましい点がなく、澄みきっていること。」だそうです、ここまで言い切れるのは、「傲慢不遜」としか思えません。

私も、「傲慢不遜」や「傍若無人」になることだけは、絶対にあってはいけないと思うと同時に、結構こういう人も多いことも事実です。

反面、「面従腹背」(うわべは従順にみせかけ、内心では従わないこと)の人たちも数多くいることも事実です、人間関係は難しい筈です。

「大言壮語」の方もいますし、「不言実行」タイプの方もいます、人間は複雑と言うか、種々雑多といった方が早いかも知れません。

話変わって、四字熟語ではありませんが、我が240は「より強く」「より遠く」そして、「紳士的に」をモットーとしていますが、「より強く」「より遠く」のために、単純に違法なオーバーパワー等に走る事無く、地道にリグ・アンテナを完全な状態に整備し、当然「ツンボの大声」にならないようにすべきでしょうし、そうする事が「紳士的に」につながる事と思います。

「紳士的に」と言う言葉は、一見単純ながら、非常に抽象的な言葉だと思えます、本来の意味は「礼儀をわきまえ、相手を尊重する態度」という事だと思えますが、アマチュア無線と言うか、240での交信においても、とにかく相手が無ければQSOは成り立ちません、相手あつての事ならば、「傲慢不遜」や「傍若無人」であってはいけない事は当たり前です、「明鏡止水」の心境はともあれ、自分自身が恥かしくない程度の言動であれば、これは「紳士的に」運用していると、多くの人に受け入れられるものと思えます。

勿論、ジョークが有ったりするのは当たり前、でも、ウイットは必要でしょうし、少数意見必ずしも否に非ずですが、民主主義は多数決が原則、バランス良く、争いの無いようにするのも「紳士」でしょう。